

令和4年度 年齢別・相談主訴別状況

本表は、女性相談員が受理した相談の主訴と年齢の内訳である。
 年齢の内訳は、「30歳代」が609件と最も多く、次いで「40歳代」の512件、「20歳代」の397件の順であった。
 主訴の内訳は、「夫等の暴力」が787件と最も多く全体の約3分の1（29.4%）を占めており、次いで「離婚問題」が352件（13.2%）となり相談の4割以上は夫婦間の悩みである。
 また、一時保護の主訴は圧倒的に「夫等の暴力」であり、全体の約7割（67.5%）を占めている。

	人間関係																				経済関係				医療関係				同居問題	帰住先なし	不純異性交遊	売春強要	ヒモ・暴力団関係	5条違反	人身取引	配偶者からの暴力被害男性	合計	
	夫等			子ども		親族		交際相手		その他の者の暴力	男女問題	ストーカー行為	家庭不和	その他	生活困窮	サラ金・借金	求職	その他	病気	精神的問題	妊娠・出産	その他																
	夫等の暴力	酒乱・薬物中毒	離婚問題	子どもの暴力	養育困難	その他	親の暴力	その他の親族の暴力	その他														交際相手からの暴力	同性の交際相手からの暴力														
																									その他	その他	その他	その他										その他
15歳未満										1											1																2	2
15歳～17歳	1														1						1																4	4
18歳～19歳						(3)					(1)																									(4)	(4)	
20歳～29歳	(4)			(1)			(2)					(1)	(2)																						(1)	(11)	(11)	
30歳～39歳	(7)																																			(7)	(7)	
40歳～49歳	(9)						(1)																													(10)	(10)	
50歳～59歳	(5)																																			(5)	(5)	
60歳～64歳	(2)																																			(2)	(2)	
65歳～74歳							(1)																													(1)	(1)	
75歳以上																																					(5)	(5)
不明	140	5	68	113	9	2	23	10	4	36	11			10	3	12	7	8	97	14	1		22	1	13	11	2	11	1						634	644		
合計	(27)		(1)			(5)	(2)							(2)	(2)																		(1)		(40)	(40)		
	787	13	352	223	26	21	67	67	38	79	25			20	15	18	18	80	229	123	6	4	90	18	96	171	14	39	23					2,662	2,676			

※ 上段()は一時保護者数で内数である。